熊本市中央区大江2丁目5番1号
TEL 096－364－8722　FAX 096－364－6526

メディアリリース

送信日時　2026 年 10 月 9 日（金）

送 信 先

報道関係 各位

発 信 元　熊本学園大学 広報室

発 信 者　西山

送付枚数　本票含め　4 枚

要　　件　熊本学園大学社会福祉学部子ども家庭福祉学科
設立 20 周年記念講演・シンポジウム開催に伴う取材のお願い

連絡事項

10 月 17 日（土）13:00～16:30 に熊本学園大学社会福祉学部子ども家庭福祉学科設立 20 周年記念講演・シンポジウムを開催します。＜別紙をご参照ください＞

よろしければ取材方お願いいたします。

＜ 本リリースについてのお問合せ ＞
熊本学園大学　広報室
TEL：096-364-8722（直通）

取材申込フォーム
https://www.kumagaku.ac.jp/application

＜記念講演・シンポジウムの内容についてのお問い合わせ＞
熊本学園大学 社会福祉学部子ども家庭福祉学科
担当　本吉菜つみ

※　手違い等により、このファックスを受信されましたら、お詫び申し上げます。その際は、上記 熊本学園大学広報室 までご連絡くださいますようお願いいたします。

取材ご案内状

2026 年 10 月吉日

報道関係者　各位

熊本学園大学社会福祉学部
子ども家庭福祉学科

熊本学園大学社会福祉学部子ども家庭福祉学科

設立 20 周年記念講演・シンポジウム開催に伴う取材のお願い

熊本学園大学社会福祉学部子ども家庭福祉学科は、本年度、設立 20 周年を迎えます。

これを記念し、**令和 8 年 10 月 17 日（土）**、記念講演およびシンポジウムを開催いたします。

本学科では、20 年にわたり、保育・子ども家庭福祉を中心に、子どもや家庭、地域社会を支える人材を育成してまいりました。今回の記念事業は、単に学科の 20 年を振り返るだけではなく、子どもや家庭を取り巻く社会が大きく変化するなかで、「子どもを支える人材を地域でどのように育てていくのか」「子ども家庭福祉を学ぶことが、社会の中でどのような力につながるのか」を、卒業生、在学生、地域の皆様とともに考える機会として開催するものです。

また、本事業には、保育・子ども家庭福祉の仕事の魅力を高校生をはじめとする次の世代に伝え、将来の保育人材の育成・確保につなげていくというねらいもあります。

ぜひご取材いただき、地域の皆様へ広くお伝えいただければ幸いです。

■ 開催概要

日　時　令和 8 年 10 月 17 日（土）13：00～16：30
（12：００開場）
会　場　熊本学園大学 14 号館 1 階　高橋守雄記念ホール
主　催　熊本学園大学社会福祉学部子ども家庭福祉学科

主なプログラム（予定）
13：00　開会
13：15　「子ども家庭福祉学科 20 年の歩み」紹介
13：30　記念講演　多田 千尋 氏
15：10　シンポジウム
16：30　閉会予定

シンポジウム
「子どもとともに歩む地域社会
―子ども家庭福祉の現場から未来を考える―」

取材ご案内状

【シンポジスト】

本多 玲子 氏　　さくらんぼ保育園
前田 蒼一朗 氏　江津湖療育園通園センター
杉水 友里夏 氏　熊本市 こども局 こども育成部
中川 紗季 氏　　株式会社肥後銀行

本学科を卒業し、現在、保育・障害福祉・行政・企業という異なる分野で活躍する 4 名が、それぞれの仕事と大学での学びとのつながり、仕事の魅力、これから社会へ出る若い世代へのメッセージを語ります。

■ 本行事で取材いただける主な切り口

本行事では、例えば以下のような視点からご取材いただけます。

①「保育を学んだ、その先は保育園だけではない」

― 保育・福祉・行政・企業へ広がる卒業生のキャリア

同じ学科で子ども家庭福祉を学んだ卒業生が、保育園、障害福祉施設、熊本市、銀行という異なる分野で活躍しています。

「子どもや人について学ぶこと」が社会のさまざまな仕事にどう生かされているのか、4 人の卒業生の現在から見えてきます。

【取材ポイント】

4 名の卒業生が一堂に会するシンポジウム／卒業生への個別インタビュー

②「大学で学んだことは、社会に出てどう生きるのか」

― 4 人の卒業生に聞く「大学での学びと今の仕事」

保育、障害福祉、行政、企業。それぞれ異なる仕事に就いた卒業生に共通する「子ども家庭福祉学科での学び」とは何だったのか。

卒業生それぞれの言葉と、それを聞く在学生の姿から、大学で学ぶことと社会で働くこととのつながりを取材いただけます。

【取材ポイント】

卒業生への共通質問／卒業生と在学生との交流／在学生へのインタビュー

③「子どもを支えることは、地域を支えること」

― 保育・福祉だけではない地域社会の担い手

子どもや家庭を支えることは、保育者や福祉職だけの役割ではありません。
行政や企業を含め、それぞれの立場から人や地域に関わる卒業生の姿を通して、子ども家庭福祉の学びと地域社会とのつながりを考えます。

【取材ポイント】

異なる職種の卒業生による意見交換／地域社会におけるそれぞれの役割

④「子どもと遊びを、いま改めて考える」

― 多田千尋氏による記念講演

子どもと遊びをめぐる豊富な実践を重ねてきた多田千尋氏を迎え、これからの子どもの育ちや遊び、子どもを取り巻く社会について考えます。

【取材ポイント】

多田千尋氏による記念講演／講演の様子／講師へのインタビュー

取材ご案内状

⑤ 「子どもに関わる仕事」を次の世代へ

― 保育人材の確保と高校生の進路選択

少子化が進む一方で、子どもや家庭を支える専門職の役割はますます重要になっています。地域の保育を支える人材を将来にわたって確保していくことも、大きな課題の一つです。

本事業では、高校生をはじめとする若い世代に、保育や子ども家庭福祉を学ぶことの魅力と、その先に広がる多様なキャリアを伝えることも目的としています。

「子どもが好き」「人と関わる仕事がしたい」という高校生にとって、実際に地域社会で活躍する卒業生は、将来の自分を考える具体的なロールモデルとなります。

【取材ポイント】

卒業生から高校生・在学生へのメッセージ／参加した高校生へのインタビュー／保育・子ども家庭福祉を学ぶ学生へのインタビュー／地域の保育人材育成についての大学関係者への取材

■ 取材について

当日の講演・シンポジウムの撮影・取材のほか、登壇する卒業生や本学科教員、在学生等への取材についても、可能な範囲で対応いたします。

取材をご希望の場合は、事前に下記までご連絡いただけますと幸いです。

【お問い合わせ・取材申込先】
〒862-8680
熊本市中央区大江 2-5-1
熊本学園大学 社会福祉学部子ども家庭福祉学科
担当　本吉菜つみ

以上